

私にとって、SEMA ショーの視察は3度目となりますが、今回始めて AAAL のツアーに参加させて頂きました。また、前回訪れてから10数年が経っているので、どう変化しているのか等、期待に胸ふくらませての渡米となりました。

とにかく、ラスベガスという街は、探せば探すだけ学べる部分がある所です。特に今回は、AAAL ツアーの特長である流通視察に参加させて頂けた事により、ショーアップされた非現実的な世界と日常との比較が体感出来るなどとても貴重な体験ができました。流通視察においては、大川内先生のセミナーに加え、視察移動時におけるタイムリーなレクチャーにより、何を見て何を感じるかが明確に判断出来るのもこのツアーの醍醐味だったと思います。

何度訪れてもけっして学び尽くせない世界有数の場所、それがラスベガスだと言う印象が改めて胸に刻み込まれました。

SEMA ショーにおいては、トレンドの移り変わりがあるのは当然ですが、前回同様に、工業的な部分、DIY 的な部分、それに歴史(文化)的な要素が交差した、懐の深い自動車文化に圧倒されました。特に感じたのが、フォードタイプB(32年式ですが、盛んにカスタムされたのは'40代に入ってからのもうです)や、シボレー・ベルエアなどがデザインソースとして継承されている事などから、1950年前後の華やかな時代に形作られたスタイルが、進化と発展を続けているという印象です。

ツアーを終えて考えるに、単純にデザインを模倣するのではなく、文化に根付いてこそ発展と言う事が、今回一番学んだ事のような気がします。

今回のツアーを運営して頂いた、AAAL のスタッフの皆さん、同行させて頂いた参加者の皆さんに改めてお礼を申し上げます。

有難うございました。

P.S.

帰国後、大好きな映画「アメリカン・グラフィティ」を、ツアーの余韻に浸りながら鑑賞しました。今回のツアーに結びつく部分が多くあるので、是非ご覧になっては如何でしょうか。

今回初めてラスベガス・ロサンゼルス withSEMA 2012 海外流通視察セミナーに参加させていただきました。

小売店本部の方やグループ店の方、また様々な分野のメーカーの方とご一緒でき、従来とは違う色々な視点から今回のツアーを視察することが出来ました。

SEMA ショーはとても大きな会場で出店車両も日本以上に派手にチューンナップされており、日本のオートサロンと較べても見応えのあるショーと感じました。

とても2日間で回ることが出来ないくらいの規模でした。

流通視察では事前にセミナーを受けさせていただき、アメリカ流通業の変化と消費者のライフスタイルの変化を学び、日本が追随しようとしているアメリカの消費者の購買行動を学びました。その中でも特にES や CS など満足度向上を目指す部分は大いに参考になりました。

今回の視察では日本で体験・体感できない部分が多くあり、非常に魅力のあるツアーでした。機会があればまた次回も参加したいと思います。

ありがとうございました。

株式会社 ボンフォーム 東京営業所 寺島 正章